

早鞆中学校だより

校訓 ～ 自主・自律 協同 友愛



【学力特集号】

北九州市立早鞆中学校 校長 上田 あけみ（令和元年 1 月 2 2 日）

平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日（木）に、3年生を対象として、「教科（国語、数学、英語）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

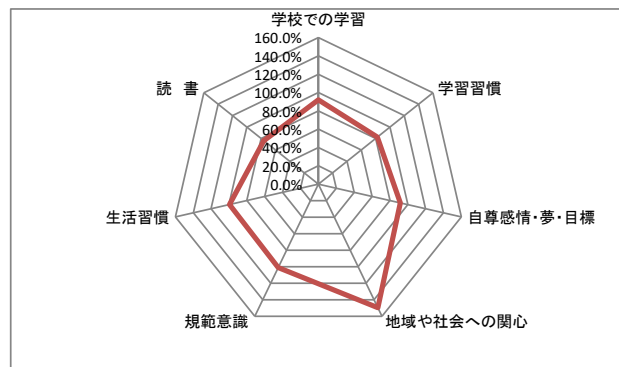
この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語	無回答率は低いものの、文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える問題の正答率が低い。	下回っている
数学	結論が成立するための前提や新たな条件などを説明したり、資料の傾向を的確にとらえて数学的な表現で説明する問題において、無回答率が高い。	下回っている
英語	文章を読み取って選択する問題は比較的正答率が高いが、自分の考えを表現する力や資料を要約した文章を読み取る力に課題がある。	下回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
○「学習習慣」や「読書」の項目が、全国平均より下回っており課題である。「家庭学習を1日当たり60分以上行う」と回答した生徒の割合は昨年度に比べて改善傾向にあるが、依然として低い。しかし、「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」の質問に対して肯定的な回答をした生徒の割合は全国平均を上回り、家庭学習への意欲は向上している。
○「地域や社会への関心」の項目は昨年度よりも大幅に向上し、全国平均を大きく上回った。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

○朝自習の取組：(国語科)新聞の書き出しで長文に多く触れさせる。(数学科)月から木まで同じ内容の問題を解かせて週末に確認テストを実施。(英語科)単語を書かせる取組。2学期末考査後に単語コンクールの実施。⇒確認テストや単語コンクールに関しては、放課後の個別指導等につなげる。
○数学科を中心に、基礎学力向上週間を設ける。

② 家庭生活習慣等に関する取組

○早鞆ノートを活用し、家庭学習を行う生徒が増えてきているので、今後も継続して取り組んでいく。
○GLT集会を開き、家庭学習の重要性を全校生徒に周知する。
○学校だよりや学級通信・学校ホームページ等で、全国学力・学習状況調査の結果の分析等を保護者へ周知し、家庭の協力体制をつくり、家庭学習に取り組む。

【お知らせ】

今日で2学期の期末考査が終わります。3年生は引き続き、体調管理とともに日々の勉強の積み重ねを大切にしてください。また、1・2年生は、12月11日（水）に「令和元年度北九州市学力状況調査」が実施されます。この調査の結果を基に、よりきめ細かな指導を行い、学力向上と学校や家庭での学習や生活習慣の改善を図ることを目的として実施されます。試験範囲も配布していますので、計画的に取り組んでください。

なお、実施教科等は、国語・数学・理科・英語・生徒質問紙です。